



舞鶴小だより

平成30年1月号 文責 学校長 相河竜治

3つのまとめの3学期にします！

本校に赴任して3年目の3学期を迎えました。この3年間の舞鶴小学校の教育の仕上げの学期にしたいと考えています。3年目の仕上げの目標は、いつも言っているように「主体的 対話的で深い学び（学び合い）の実現」と「地域を巻き込んだあいさつ運動」、「無言清掃」の3つです。

平成最後の3学期 次の準備に向けて

3学期の始業式の校長先生の話では、「平成最後の3学期ですが、『平成最後』ってどんな意味があるのでしょうか？」という問いかけから始まり、明治から平成までの4つの時代の特徴を紹介しました。具体的には、いずれの時代も、日本は戦争や地震、津波といったたくさんの苦難に襲われましたが、その都度、私たち日本人はたくさんのことを学び、努力し、復興し、輝かしい日本を作ってきたことを話しました。そして、「これから来る時代はどんな世の中になるのか分かりませんが、今、確かなことは2020年、つまり来年には東京オリンピックがあること。さらに2027年には中央リニア新幹線が開通する予定になっていること。そして、新しい時代が平成と同じように30年ほど続くと、皆さんはその時代の終わりには君たちのお父さんやお母さんと同じような年代になっていること。つまり、次の時代に君たちは君たちの夢を実現させるのです！」と話し、「今、日本が平成の時代のまとめをし、次の時代に備えているように、皆さんも今の学年のまとめをし、次の学年の準備をしましょう！」と話しました。具体的には、勉強と運動を頑張ること、そして、「ま・い・づ・る」を頑張りたいように呼びかけました。

子どもたちには、充実した3学期になるように指導していきます。



- ちなみに、「ま・い・づ・る」とは…
- 「ま」毎日、明るく元気にあいさつ運動
※学校だけでなく、見守りをしてくださっている旗振り当番、地域の見守りボランティアの方にも明るく元気に挨拶しよう
 - 「い」いつもだまって無言清掃
※心を磨くように、黙って掃いて拭こう
 - 「ず（づ）」ずっと相手の目を見て聞こう
※目で話を聞くこと 授業中だけでなく、友達との会話でも
 - 「る」ルールを守って思いやり
※人の嫌がることを“言わない”“しない”という人間関係のルールを守って、思いやりをもって積極的に親切にしよう

～ 無言清掃の取組について ～

何故「無言清掃」なのでしょう？「友達とおしゃべりしながら、楽しく掃除をした方がいいのではないか？」そんな疑問がわいてくる方もいらっしゃるかもしれません。そこで、学校にいる時にはなるべく毎日掃除を見回るようにしているのですが、改めて7月18日（金）に全校の掃除の様子を撮りながら巡回し、子どもたちの様子を見ました。1年生から6年生まで、本当によく頑張っていました。改めて確認できたすべての学年・学級で共通している点は次の通りです。

子どもたちは基本的に話をしていないので…

- ① ふざけて遊んでいる子どもがいないこと
※ 話をしてしまうとついおしゃべりに夢中になってしまいます
- ② 掃除中のほこりの混じった空気を口から吸い込んでいる子どもがほとんどいないこと
※ 口を閉じて鼻呼吸となるため
- ③ 心を込めて拭いたり掃いたりできていること

※ 今、している掃除に集中できるため

子どもたちの掃除に取り組む様子を見ていて、3年間取り組んできた無言清掃の成果が確実に表れてきていることを実感しました。



心の成長がありました！

校内書き初め大会

7月10日（木）～15日（火）まで、校内書き初め大会を行いました。1・2年生は硬筆で3年生以上が毛筆で作品を仕上げました。無言清掃にも通じるところがあると思いますが、誰一人話すことなく、静けさの中に凜とした雰囲気漂う教室で、一人一人お手本の字と向かい合い、自分の納得できる作品を仕上げようと集中する姿に大変感銘を受けました。入選した子はもちろん、入選しなかった子どもも字を書く技量だけでなく、心の面でも大きな進歩があったと感じました。

